

団体名：ご記入ください。

## 団体概要

ハピサンBOOKSは、2020年度より本格活動している本と一緒にコミュニティを作ることが目的とした団体です。本を貸したり借りたり、そこでお話したり、街全体に本を介したコミュニティが生まれる活動をしています。

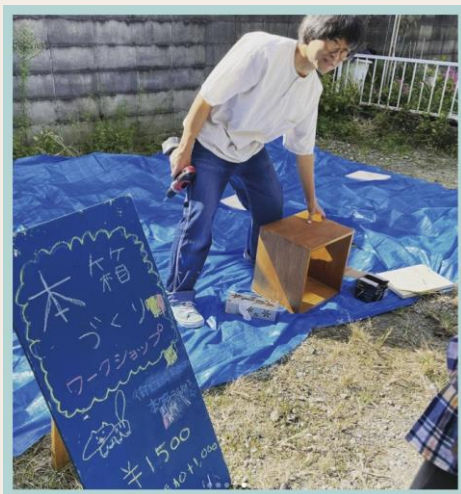
活動名：ご記入下さい。

## 1 活動の目的

本は一人でもみんなでも楽しめるもの。本のある場に色々な人がいれば、共感したり、お互いの感想を話し合い、それぞれの価値観を認めあったり。人と人との交流にも本は大きな役割を果たしてくれます。そんな本を介したあたたかいコミュニティを地域で作ることを目的として活動しています。



## 2 活動の内容



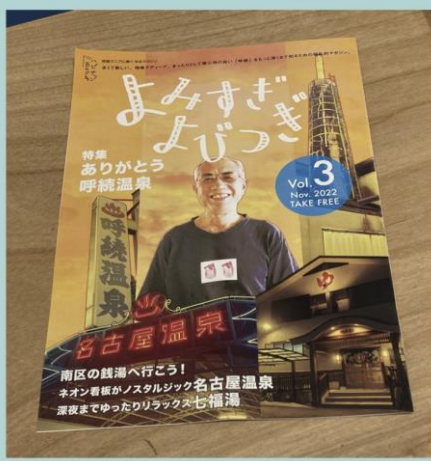
活動をする際にとっても大事なアイテムとなる本箱作りワークショップで箱を作り、一箱本箱活動としてたくさんの方にそれぞれの場所で箱を置いていただきコミュニケーションのきっかけを作りました。

また、地域コミュニティの探索として地元呼続に特化したフリーペーパー「よみすぎよびつぎ」を発行、配布。

さらに定期的に駄菓子屋を開いて子どもから大人まで交われる場作りをしています。マルシェイベントも時々開催し、賑やかな場を演出しています。

## 活動の振り返り（目的を達成できたか）

本箱作りワークショップ参加者からは、「箱一つでやれることがすごくたくさんある！」という感想をいただき、街作りの第一歩を踏み出すきっかけ作りができたと思います。



ブックカフェ開催時は、とても賑やかでこのような場を求めている方がたくさんいることも実感しました。駄菓子屋は、小さな場での開催でしたが、小さな場で自然と生まれる会話などでいつの間にか場作りの一要因になっていたり、フリーペーパーでは、ネットや雑誌にも載っていない情報に地域の方が関心を持ってくださり街に興味を示すきっかけづくりができたと思います。

この活動は、たくさん人に「本は大事」「コミュニティの場はやっぱり必要」「コミュニケーションは自然と取れる」などのこと意識を芽生えさせることのできた活動であると思います。

それは、私設図書館開館や本のイベントが増えたことなど、最近の流行にも見てとれることで、この流れを絶やささないよう今後ハピサンBooks としての活動は本に限らず、さまざまなコトやモノに変え、街作りの第一歩であるコミュニケーションの場作りをしていきたいと思います。

